

角館高等学校校長挨拶

「歴史と伝統の町」角館は、三方を小高い山々に囲まれた仙北平野の北端に位置し、西は檜木内川、南には玉川が流れる城下町で、みちのくの小京都と呼ばれています。檜木内川の堤にはソメイヨシノの並木が2 Kmにわたって続き、春には清流を背景に、多くの人々に美しい姿を見せてくれます。

このようなすばらしい環境に恵まれた地に建つ本校は、大正14年開校の旧制秋田県立角館中学校を前身とする角館高等学校と、昭和3年開校の秋田県立角館高等女学校を前身とする角館南高等学校が平成26年に統合し、新生「角館高等学校」として誕生しました。今、4年目の春を迎えましたが、二つの学校の長い伝統の上に、新たなる歴史が始まりました。そこには質実剛健の「若杉精神」と、清く賢く強く生き抜く「駒草精神」の理念が継承され、本校教職員、生徒の精神的基盤となっています。

本校の目指す教育は、「郷土を愛し、国際社会や地域社会に貢献できる人材の育成」であります。今年度は、次の重点目標を掲げます。

1. 生命を尊重するとともに、相手の立場に立って物事を考えることができる豊かな心を育成する。
2. 生徒自らが進路実現のために主体的に学び、高い目標に向かって挑戦し続ける意欲を喚起する。
3. 学校の教育活動について積極的に発信し、保護者や地域社会との連携を強化する。

今年度新たに、全日制課程210名、定時制課程9名の新入生を迎え、平成29年度の角館高等学校の船出が始まりました。生徒達は、目指す進路目標に向けて熱心に勉学に励む一方、9割以上が部活動に所属し日々活動しており、文武両道を目標に頑張っています。

我が角館高等学校は「生徒の夢を叶える学校でありたい」と思います。保護者の皆様や、同窓会、地域の方々のご支援をいただきながら教職員一同、一丸となって、角館高等学校のより一層の躍進に向け邁進したいと考えております。ご支援よろしくお願いたします。

平成29年4月6日

校長 檜尾 尚樹